

1 - 2 1985年1月23日札幌直下の有感地震 (M3.5) について

A Perceptible Earthquake near Sapporo City (January 23, 1985, M3.5)

北海道大学 理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

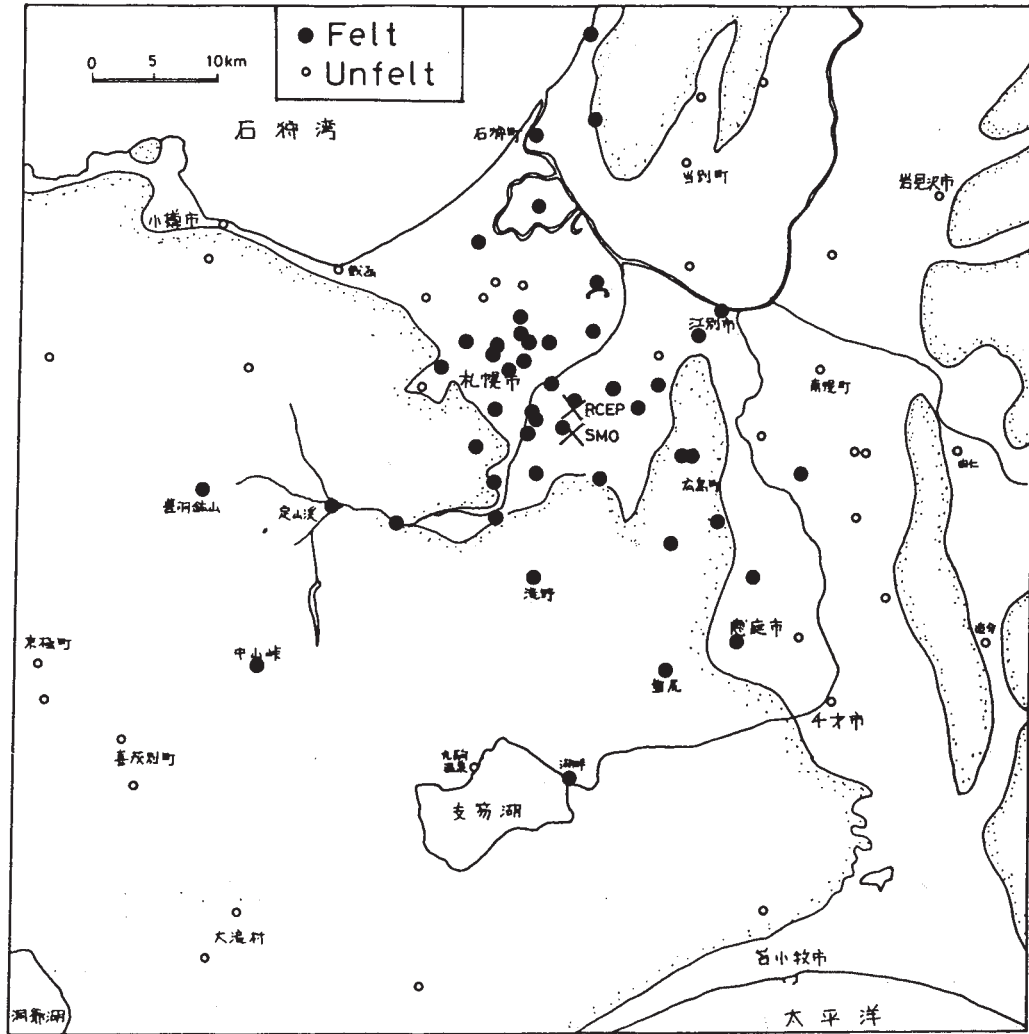
1985年1月23日07時33分に札幌市直下に震源をもつM3.5の浅発地震が発生した。局地的には震度Ⅲ近くの有感となり、地元の報道機関でとりあげられるなど、注目された地震である。25日までに実施した震度調査の結果を第1図に示す。

この地震と発生場所・規模ともに類似している地震は1933年9月25日の地震¹⁾である。また、札幌周辺の浅発地震で有感であった最近の地震は1974年11月17日の石狩河口の地震(M4.0)²⁾、1981年10月18日の恵庭岳の地震(M4.0)³⁾である。

また、1984年12月28～29日に夕張丘陵で微小群発地震活動(観測された地震数6、最大の地震M2.5)があった。1984年末から1985年1月にかけて、札幌周辺は地震が発生しやすい状態にあったものと考えられる。(鈴木貞臣, 本谷義信)

参 考 文 献

- 1) 札幌管区气象台：北海道の地震活動(1985), 39.
- 2) 北大理学部：北海道周辺の最近の地震活動(1974年8月～11月), 連絡会報, **13**(1975), 4 - 5.
- 3) 北大理学部：1981年10月18日支笏湖北方の地震(M4.4), 連絡会報, **27**(1982), 14 - 16.



第1図 1985年1月23日の札幌直下の地震の有感域。×印は、北大 (RCEP) および札幌管区气象台 (SMO) による震央位置

Fig. 1 Perceptible area for the earthquake on January 23, 1985. Crosses are epicenters determined by two agencies, Hokkaido University (RCEP) and Sapporo Meteorological Observatory (SMO), respectively.